

サイバーナイフ治療を複数回受けられた 肝細胞癌の患者様ならびにご家族の方々へ

当院では、より良い治療を行うための研究「肝細胞癌に対する複数回の体幹部定位放射線治療の効果と安全性の検討」を実施しています。

肝細胞癌に対する複数回のサイバーナイフ治療が有効かつ安全であることを示すための研究です。

これまでの診療記録を集計します。新たな質問や検査の必要はありません。

この研究では、担当者が対象となる方のカルテ（診療記録）を選び、サイバーナイフ治療を受けられた当時の画像データ、検査の値、その後の経過についての記録を集計させていただきます。

研究の対象は、肝細胞癌の患者さんで複数回サイバーナイフ治療を受けられた一部の方です。

2012年1月1日から2019年5月31日の間に、当院で肝細胞癌に対して、サイバーナイフによる治療を2回以上受けられた方の一部の方を対象としています。

お名前や個人情報がでることは、一切ありません。

収集された資料は、個人を特定できないように処理して解析されます。結果は学会等で公表しますが、必要な情報のみ統計資料として集計しますので、当院外にお名前や個人情報がでることはありません。

研究終了後、収集資料は個人を特定できない形にして保管され、他の研究等に利用される場合があります。その場合は改めて倫理審査を受けます。この研究全体の結果を、研究終了後に、対象者に伝える予定はありません。

研究内容の詳細等は、担当医あるいは下記の当院連絡先担当者にお問い合わせください。

この研究にご自分の診療記録を使ってほしくない方は、お申し出ください。

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。たとえそれが調査期間中であっても、いつでもお断りいただけます。

その場合は、2020年8月31日までに、下記担当者にお申し出ください。ご本人の同意の判断が困難な場合、親族の方のお申し出でも構いません。

連絡先： 済生会横浜市東部病院放射線治療科・担当者江里口貴久

電話 045-576-3000

住所 〒230-0012 横浜市鶴見区下末吉 3-6-1

研究責任者： 済生会横浜市東部病院放射線治療科 江里口貴久